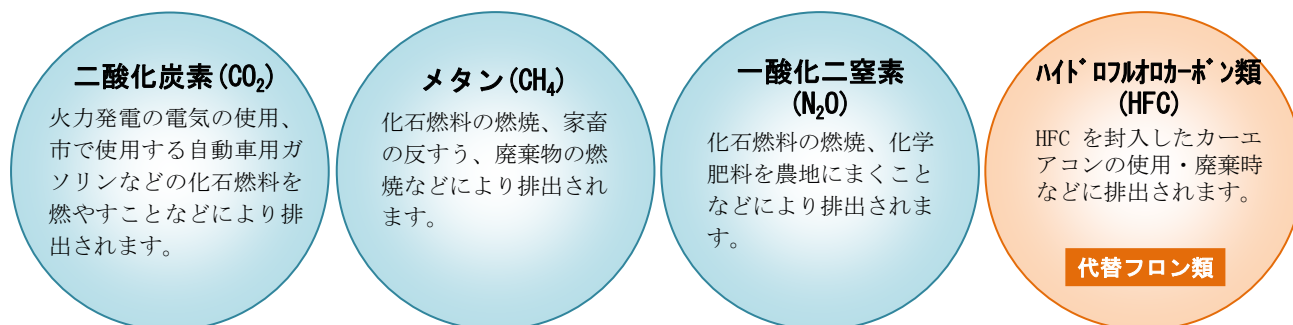


第3節 事務事業編（市役所の温室効果ガス削減に向けた取組）

（1）対象とする温室効果ガス

本計画で対象とする温室効果ガスは、地球温暖化対策推進法に規定する7種類のうち、市役所が実施する事業から排出される以下の4種類とします。

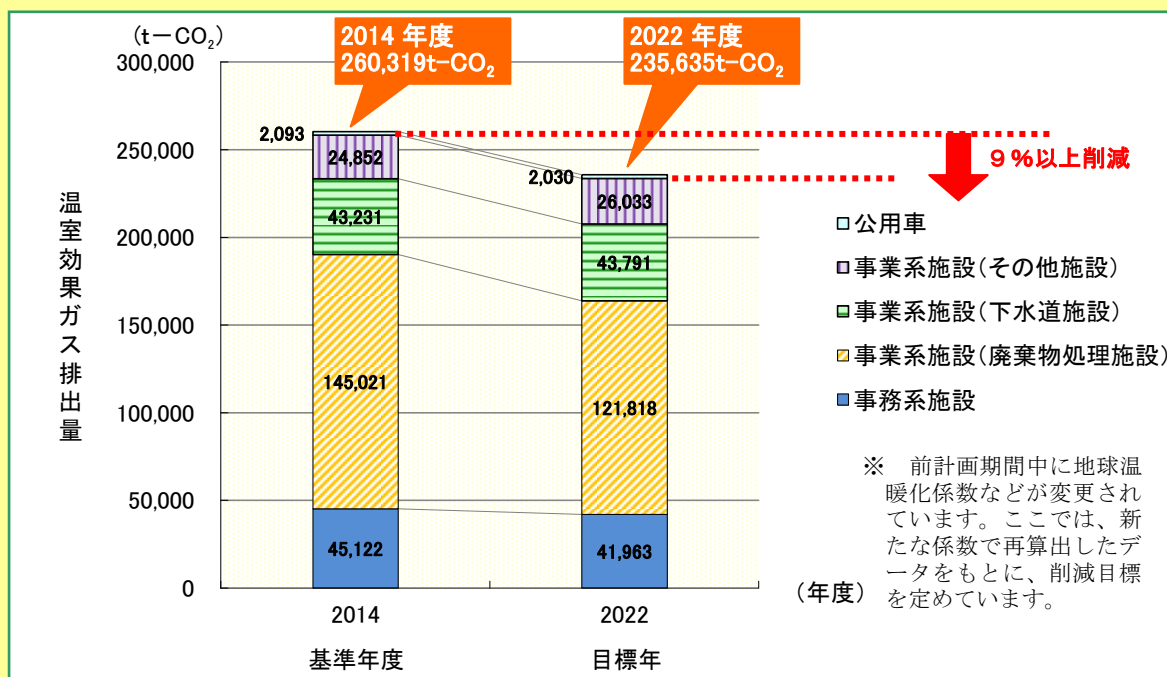


（2）削減目標

事務事業編の**目標年度**は、**2022年度**（平成34年度）とします。また、**基準年度**は、本市の事務事業から排出される温室効果ガスを適切に把握できる最新年度**2014年度**（平成26年度）を対象とします。

（2）-1 全体の削減目標

2022年度の市役所が実施する事業から発生する温室効果ガス排出量を、基準年度(2014年度)に対して「9%以上削減」します。



注) 使用している排出係数や対象施設が異なることからP12の数値とは一致しません。

(2) -2 施設別削減目標

注) 使用している排出係数や対象施設が異なることからP13の数値とは一致しません。

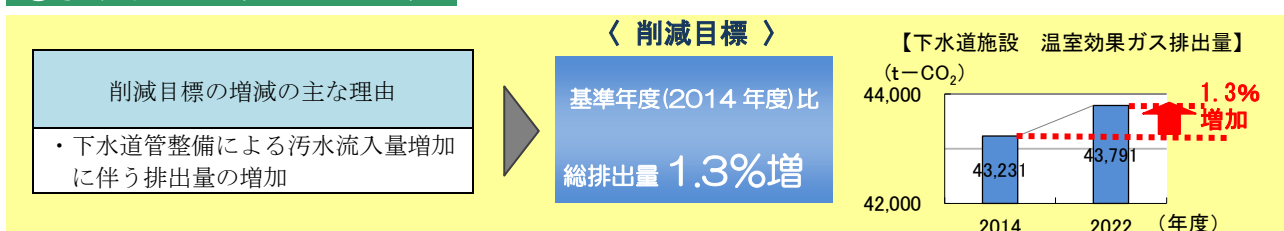
①事務系施設



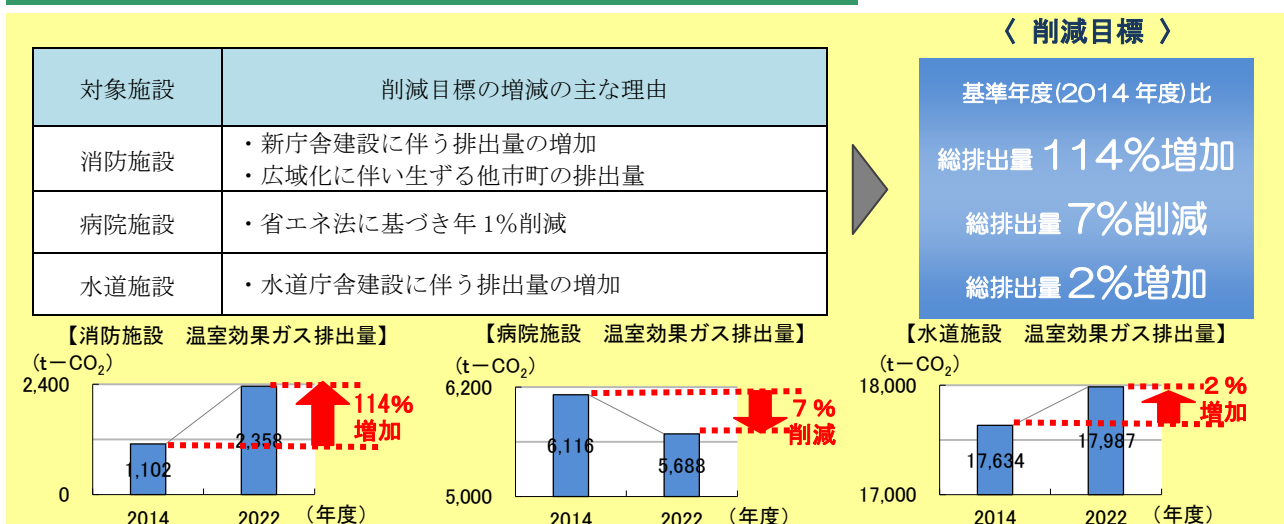
②事業系施設（廃棄物処理施設）



③事業系施設（下水道施設）



④ 事業系施設（その他施設（病院・消防・水道施設））



⑤ 公用車



(3) 対策・施策

◆ 対策・施策の考え方 ◆

- ◆前計画では、**重点的に取り組む3つの柱**を定め、削減目標の達成に向けた取組を進めてきました。
- ◆2014年度（平成26年度）の実績では、**すでに削減目標を達成**しており効果の高い取組であったため、前計画で定めた**3つの柱を継続して取り組む**こととします。

省エネルギーの推進

再生可能エネルギー
などの導入

新たな削減方策

①事務系施設

◆省エネルギーの推進◆

- ◆「静岡市環境マネジメントシステム」に基づき、省エネルギーを推進します。
- ◆「静岡市省エネの取組に関する基本方針」に基づき、パソコンの省エネモードの活用、昼休みの消灯、クールビズ・ウォームビズの実施など、エネルギー使用量の削減による省エネルギーを推進します。
- ◆「静岡市グリーン購入指針」に適合する製品を購入します。
- ◆職員に対し、ワーク・ライフ・バランスについて啓発を行い、定時退庁、時間外勤務の縮減などを促し庁舎の省エネルギー化を推進します。
- ◆設備・事務機器については、新設、更新などの際に、省エネルギー性能の高いものを選定して導入します。
- ◆残存している蛍光灯や水銀灯については、修繕・工事の際に、LED照明や省エネルギーに配慮した機器へ更新します。
- ◆地場産業であるサンダルの利用を促進しながら、足元のクールビズを実施します。

◆再生可能エネルギーなどの導入◆

- ◆公共建築物の整備をする際は、公共建築物整備指針に基づき、再生可能エネルギーの利用に配慮した設計、施工を実施します。
- ◆バイオマスボイラーの利用を推進します。

◆新たな削減方策◆

- ◆「静岡市アセットマネジメント基本方針」の推進を図ります。
- ◆公共建築物に対し、定期点検などを強化し、使えなくなる前に修理・修繕などを行うことにより省エネルギーを推進します（予防保全型の維持管理）。
- ◆公共施設へ市産材を積極的に活用します。

②事業系施設(廃棄物処理施設)

■対策・施策

◆省エネルギーの推進◆

- ◆「静岡市環境マネジメントシステム」に基づき、省エネルギーを推進します。
- ◆「静岡市グリーン購入指針」に適合する製品を購入します。
- ◆設備・事務機器については、新設、更新などの際に、省エネルギー性能の高いものを選定して導入します。
- ◆4Rを推進（ごみの減量化・資源化の促進、資源ごみの分別によるリサイクル率の向上など）し、ごみの減量化を図ります。
- ◆設備の効率的な運転を実施し、省エネルギーを推進します。

◆再生可能エネルギーなどの導入◆

- ◆廃棄物焼却の際の余熱を利用した発電（バイオマス発電）を推進します。

◆新たな削減方策◆

- ◆「静岡市アセットマネジメント基本方針」の推進を図ります。
- ◆廃棄物処理施設に対し予防保全型の維持管理を行うことにより省エネルギーを推進します。
- ◆沼上灰溶融炉を停止し電力使用量を削減します。
- ◆「溶融スラグ」について製造から売り払いまでの工程を適正に管理するとともに、有効利用のための調査研究を実施し、「溶融スラグ」の有効利用を推進します。
- ◆発電した電力の新たな利用方法を検討します。

③事業系施設(下水道施設)

◆省エネルギーの推進◆

- ◆「静岡市環境マネジメントシステム」に基づき、省エネルギーを推進します。
- ◆「静岡市グリーン購入指針」に適合する製品を購入します。
- ◆設備・事務機器については、新設、更新などの際に、省エネルギー性能の高いものを選定して導入します。
- ◆設備の効率的な運転を実施し、省エネルギーを推進します。

◆再生可能エネルギーなどの導入◆

- ◆施設の改築・増設に合わせ、太陽光発電設備の導入を検討します。

◆新たな削減方策◆

- ◆「静岡市アセットマネジメント基本方針」の推進を図ります。
- ◆炭化炉の整備により燃料化を進め、下水汚泥の再資源化を行います。
- ◆下水熱を利用したヒートポンプ空調システムなどの情報収集を行います。

④ 事業系施設(その他施設(病院・消防・水道施設))

◆省エネルギーの推進◆

- ◆「静岡市環境マネジメントシステム」に基づき、省エネルギーを推進します。
- ◆「静岡市グリーン購入指針」に適合する製品を購入します。
- ◆設備・事務機器については、新設、更新などの際に、省エネルギー性能の高いものを選定して導入します。
- ◆設備の効率的な運転を実施し、省エネルギーを推進します。

◆再生可能エネルギーなどの導入◆

- ◆上下水道局庁舎において太陽光発電設備を導入します。
- ◆施設に再生可能エネルギーなどの設備導入を検討します。

◆新たな削減方策◆

- ◆「静岡市アセットマネジメント基本方針」の推進を図ります。
- ◆施設に対し予防保全型の維持管理を行うことにより省エネルギーを推進します。
- ◆水道施設運転方法を見直し、効率の良い送水システムを構築します。

⑤ 公用車

◆省エネルギーの推進◆

- ◆近距離の移動においては、徒歩や自転車の利用を推進します。
- ◆遠距離の移動においては、公共交通機関の利用を推進します。
- ◆合理的な走行ルートを選択し、効率的な運転を推進します。
- ◆エコドライブを推進します。

◆再生可能エネルギーなどの導入◆

- ◆次世代自動車（EVなど）を積極的に導入します。

◆新たな削減方策◆

- ◆家庭可燃ごみ収集業務の民間委託化などを推進します。

省エネルギーを実施すれば、家計にも役立ちます！

コラム



テレビ

◆液晶テレビ(32V型)を、1日1時間、見る時間を減らした場合
年間で電気 16.79kWh の省エネ → 約 450 円の節約 (CO₂削減量 9.6 kg-CO₂)



エコ
ドライブ

◆ふんわりアクセル『eスタート』を始めた場合
年間でガソリン 83.57ℓの省エネ → 約 13,040 円の節約

(CO₂削減量 194.0 kg-CO₂)

※ふんわりアクセル「eスタート」の削減割合は、スマートドライブコンテストの操作別燃料消費削減割合による。年間削減量及び年間走行距離、平均燃費は 2,000cc 普通乗用車/年間 10,000 km 走行とし、平均燃費 11.6 km/ℓで計算

少し緩やかに発進！
最初の5秒で
時速 20 kmが目安

資料：「家庭の省エネ徹底ガイド(2015.3)」(経済産業省 資源エネルギー庁 HP より)

COP21で「パリ協定」が採択されました！

コラム

2015年11月末からフランスのパリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)では、京都議定書に代わる温室効果ガス削減のための新たな国際的なルールとして、「パリ協定」が採択されました。

この「パリ協定」は、先進国、途上国を含む世界196カ国の国・地域が参加する初めての画期的なルールで、2020年から実施されます。

◆「パリ協定」の主な内容◆

目的

産業革命前からの世界の平均気温の上昇を2.0℃未満に抑える
(努力義務：1.5℃未満に抑える)

長期目標

世界全体で今世紀後半には、人間活動による温室効果ガス排出量を実質ゼロにしてい
くことを目指す。

具体的なルール

- ・全ての国に、削減目標と対策の策定、提出を義務づけ(但し、目標達成の義務なし)
- ・5年ごとに削減目標と対策の見直しを義務づけ(現状より向上させる見直し)
- ・先進国に、途上国への資金支援を義務づけ(他の国も自発的に資金支援することを奨励) など